

斎藤のりお



仙台に活力！泉に全力!!
子どもたちの輝く未来のために。



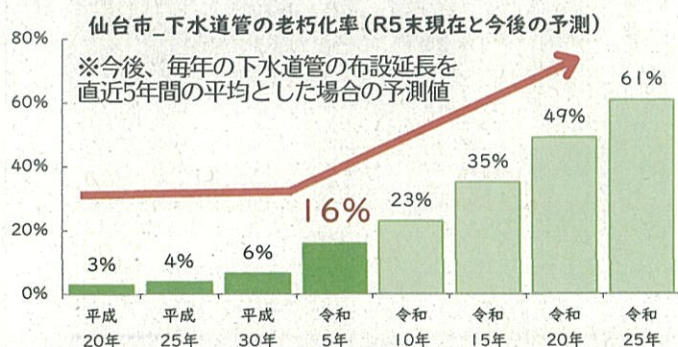
のりお通信

花の便りが待ち遠しいこの頃ですが、皆さま、お元気でしょうか。昨年12月と本年2月の議会において、皆さまの暮らしにかかわる様々なことを質疑いたしましたのでご報告いたします。

道路陥没のリスクは？

老朽化が進む仙台市の下水道

埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、仙台市の下水道の老朽化が改めて注目されています。現在、市内の下水道管の老朽化率は16%ですが、今後20年以内に50%を超える見込みです。



※老朽化率とは、法定耐用年数50年を超えた下水道管の割合。

一方で、下水道管の更新率はわずか0.21%にとどまり、すべての下水道管を更新するのに476年かかる計算になります。このままでは、**道路陥没などのリスクが高まる**恐れがあります。

実際、仙台市では過去8年間に下水道管の老朽化が原因とみられる**道路陥没**が652件発生しており、年平均82件にのぼります。これは**約4日に1回のペースで発生**していることになり、市民の安全にとって看過できない状況です。

市では、法定点検に加えて独自のカメラ調査を行い、リスクの高い下水道管を特定しています。これまでに約507キロを調査し、そのうち121キロが改築更新の対象となりました。令和5年度末までに約80キロの改修が完了し、今後も調査範囲を拡大しながら改築更新の事業量を増やしていく方針です。

下水道は、市民の生活や都市の安全に欠かせない重要なインフラです。道路陥没や水害のリスクを軽減し、安全な都市環境を維持するためにも、**計画的な改築・更新**が求められています。厳しい財政状況の中でも、**必要な投資を続けることが不可欠**です。



市民の安心・安全を守るため、今後の取り組みを注視していく必要があります。

市民の皆さまの
安心・安全を守ります！



斎藤のりお プロフィール

1954年 8月生まれ 古川高校・北海道大学卒業 その後宮城県職員として医療分野等に従事
2003年 仙台市議会議員初当選（現在期6期目） 仙台市議会会派「せんだい自民・参政の会」

趣味は家庭菜園

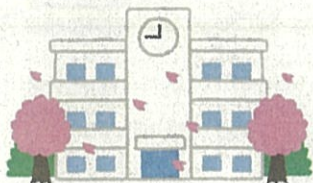


仙台市では、令和5年度の不登校児童生徒数が3,128人に達し、**東北ワースト1位***となりました。また、**暴力行為の発生件数**は2,513件と前年度の約2倍に増え、**政令市の中で2番目に多い***深刻な状況です。

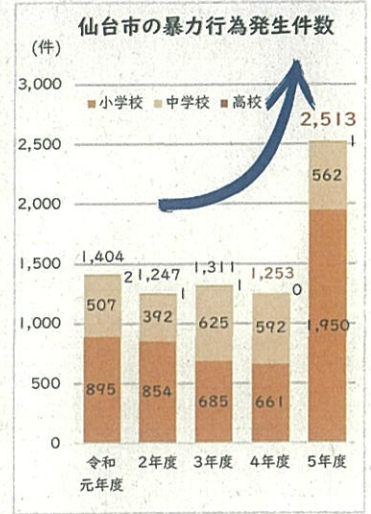
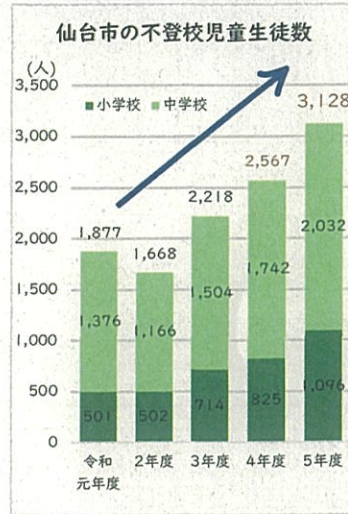
*=1000人あたり発生件数

こうした教育現場の課題が山積する中、市長は小中学校で英語を核とした新教科「国際探究科」を設置するとしています。

国際的な視点を持つ教育の重要性は理解できます。しかし、ダイバーシティ教育の思惑が見え隠れしており、不登校や暴力行為の急増という現実を前に、新たな教科の創設が今、本当に必要なのかという疑問を抱かざるを得ません。子どもたちが学校に行けない状況が深刻化し、現場の先生方が対応に苦慮している中で、まず求められるのは、**既存の教育環境を整え、安心して学べる環境を作る**ことではないでしょうか。



まずは目の前で困っている子どもたちに手を差し伸べることが最優先なはず！



(文部科学省「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果より)

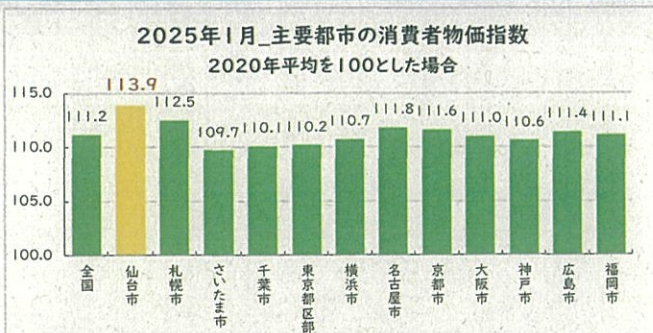
私たちの会派は議会で、不登校児童生徒へのフォロー体制の実態や、学校と医療機関の連携、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用状況について問いいただきました。現状では支援が十分に行き届いておらず、さらなる**体制強化が必要です**。また、退職教員の知識と経験を活かした「相談・学び塾」のような**個別支援の取り組み**を市が積極的に支援することも**提案**しました。

教育の未来を考えることは大切ですが、それ以上に、今まさに目の前で困っている子どもたちへの対応が最優先されるべきです。

仙台市の教育行政が、本当に必要な支援に力を入れ、**子どもたちが安心して学べる環境を整える**ことを強く求めてまいります。

仙台特有の課題に即した対策を！

仙台市の物価高騰



(総務省統計局「2020年基準_消費者物価指数_2025年1月分」より)

仙台市の消費者物価指数の上昇率は**全国で最も高く**、市民の生活に大きな影響を与えています。特に食料品やエネルギー価格の上昇が家計を圧迫し、日常生活の負担が増えています。

しかし、昨年12月に市が発表した物価高騰対策は、国の交付金を活用したものであり、仙台特有の課題を十分に分析したものとは言えません。寒冷地ならではの負担増や物流コストの上昇といった**地域特有の要因に対応した施策**は不十分です。

市民の暮らしを守るためには、エネルギー助成の拡充、地産地消の促進、賃金上昇を後押しする施策が不可欠です。

のりおの目

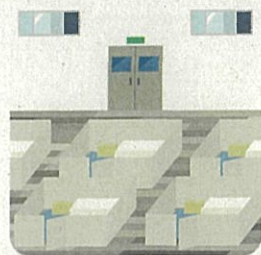
行政は、市民生活の実態に寄り添った実効性のある対策を早急に打ち出すべきです！

仙台市の防災対策の遅れ、とりわけ避難所のトイレ環境や福祉防災の問題について、議会で繰り返し質疑を重ね、改善を求めてきました。その結果、ようやく市が動き出し、本年1月に地域防災計画の見直しを発表しました。

避難所のトイレ対策について、市は長年、国が求める「災害時のトイレ確保・管理計画」を策定せず、備蓄されている携帯トイレも不足したままでした。また、組立困難な仮設トイレへの依存やマンホールトイレの未整備など、課題が山積していましたが、このたび**携帯トイレの追加備蓄やマンホールトイレの整備を進める方針**が示されました。

のりおの目

石破総理大臣は所信表明演説において、災害関連死を防ぐため、避難所の生活環境改善に取り組む考えを強調しています。東日本大震災後の仙台市の取り組みを踏まえ、避難所運営について、国に対して積極的に提言すべきです！



また、災害時に自力で避難できない高齢者や障害者の支援についても、法改正に即した「避難行動要支援者名簿」の見直しや「個別避難計画」の策定が進められず、市の対応は遅れていました。ようやく市は**名簿の更新や個別避難計画の推進、指定福祉避難所の整備を開始**することを決定しました。

しかし、これはまだスタートラインにすぎません。避難所のトイレ環境の改善や、福祉防災の取り組みなど、**実効性のある運用**が求められます。今後も、**市民の安心・安全を守る**ために引き続き改善を求めています。

市への寄付で保存が前進

仙台市泉区七北田にある「仙台藩刑場跡」は、元禄3年（1690年）に設置された歴史的な場所です。地域住民が刑死者を供養し続けてきた記録が残っていますが、近年は維持管理が困難になっていました。



この跡地には、様々な大切な歴史があります。市の文化財にできるよう、働きかけ続けます！



重要旧跡「仙台藩刑場跡」

しかし、地元関係者の尽力により、跡地の所有権が善正寺に一本化されたことを踏まえ、関係の皆様からご相談いただきました。このたび**仙台市への寄付が決定**したことで、保存へ向けた重要な一歩を踏み出しました。

全国には刑場跡を歴史教育や市民啓発に活用する事例もあります。**仙台藩刑場跡の歴史を次世代へ継承**するため、市の積極的な保存・活用が求められます。今後の方針に注目していきます。



「仙台藩刑場跡」とは

仙台藩の刑場は、先に仙台琵琶首（現在の花壇）にありましたが、寛文6年（1666年）米ヶ袋に移り、元禄3年（1690年）に郊外の七北田に移りました。以降178年間続き、約7,000人も罪人が処刑されたと伝えられています。

当時、刑死者の供養や墓碑の建立は許されていませんでしたが、五代藩主伊達吉村公夫人・長松院の遺言により、延享2年（1745年）に処刑場を挟んで奥州街道沿いに「河南堂」「河北堂」の二棟の常念仏堂が建てられました。それぞれに「抜苦」「与楽」の扁額が掲げられ、処刑に際して山の寺洞雲寺から派遣された僧が読経供養したといわれています。

拉致被害者の救出を願い、街頭署名活動を継続



寒い日にも署名にご協力くださり、ありがとうございました。

北朝鮮による拉致被害者の一刻も早い帰国を願い、「救う会宮城」の皆さんと協力し、毎月末の日曜日や仙台七夕の時期に街頭署名活動を行っています。現在も12名の拉致被害者の帰国が実現しておらず、さらに拉致の可能性が否定できない「拉致疑惑特定失踪者」が871名もいます。

しかし、若い世代を中心に拉致問題を知らない方も少なくありません。**風化を防ぎ、被害者救出への世論を高める**ためにも、引き続き署名活動を行っていきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

仙台北部の交通問題

解決へさらなる取り組みを！

仙台北部の交通渋滞は依然として深刻な課題であり、市民の生活や地域経済に大きな影響を与えています。しかし、2月の議会での質問に対して、市長をはじめとする行政側の答弁は消極的なものとどまりました。富谷市がBRTや都市型ロープウェイの調査を進める中、仙台市としての**具体的な対策**は依然として**明確ではありません**。

仙台市単独ではなく、県や近隣自治体との連携を深め、新たな交通システムの導入も視野に入れた**包括的な解決策を検討**することが必要だと考えます。

福岡市のように民間提案制度を活用し、多様な交通手段を模索することも有効ではないでしょうか。

市民の皆様とともに、より前向きな議論を重ね、**仙台市の交通政策の充実**につなげていきたいと考えています。



都市型ロープウェイ（イメージ）

保存版

仙台市ではさまざまな相談窓口を設けています。お気軽にご連絡ください。

暮らしを支えるさまざまな情報は

仙台市ホームページ



暮らしに役立つ総合生活情報

せんだい
くらしのガイド
(市民便利帳)



暮らしの中の困りごと・悩みごとは

各種
相談窓口



市や区への
お問い合わせは

仙台市総合コールセンター
022-398-4894

仙台
いのちを支える
LINE相談



みんなの人権110番：0570-003-110（ナビダイヤル）

仙台いのちの電話：022-718-4343

24時間いじめ相談専用電話：0120-81-2455（24時間受付）

子ども若者電話相談：0120-783-017（24時間受付）



お引越手続き
ご質問は
こちらへ



あなたのご意見・ご要望を
お寄せください！
ご相談もお気軽にどうぞ

困ったら、悩んだら
仙台市議会議員 斎藤のりお
〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-12-5-1D
TEL 022-375-2101 FAX 022-725-1911
Mail norio-office@ever.ocn.ne.jp

公式ホームページも
ぜひご覧ください

